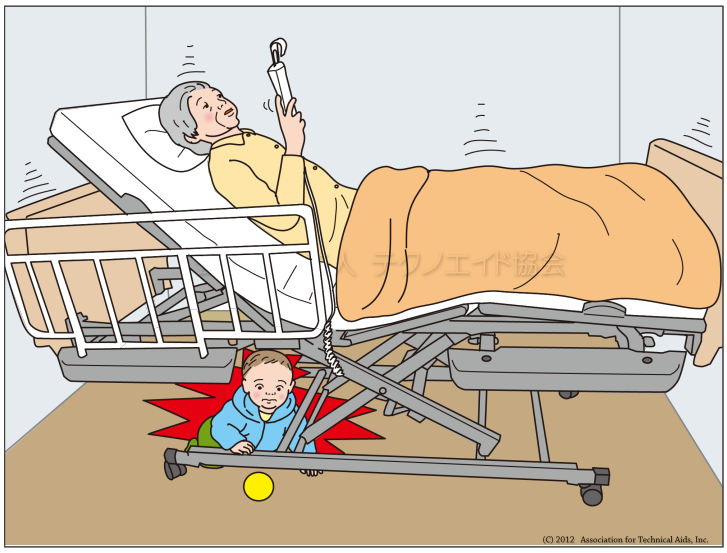
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：193

幼児が潜り込んでいたり、ゴミ箱があることに気づかず、挟み込みそうになる

場面の説明

ベッドの高さを下げている時に幼児やごみ箱に気づかず操作しようとした



利用シーン	起居・就寝 リモコン操作
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

重介助状態の要介護者の場合、ベッドを介護者に合わせて高め設定にすることがある。その際にベッド下に空間ができるために、子供が入り込んだり、荷物を置いてしまったりすることがある。もともとベッド下をおむつ等の収納場所として誤って使っているケースもあり、ベッドを下すときには挟み込むものがないか慎重に行う必要がある。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：幼児やごみ箱がベッドの下にいることを想定していなかった
人：幼児がいるにもかかわらず目を離した
モノ：安全装置がついていないベッドだった
環境：部屋が狭くて、ゴミ箱や介護用品を置く場所のゆとりがなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.